

文武両道 質実剛健

兵庫県立龍野中学校・高等学校
陸上競技部創部百周年

記念碑

兵庫県立龍野中学校陸上競技部は、大正六年（一九一七）数学の小倉邦夫先生と体育の深谷林治先生の指導を受けて誕生した。両先生のもと練習に励み、全国中学校陸上選手権大会で連続して総合優勝するとともにオリンピック選手を輩出するなど、大正末期から昭和初期にかけては向かうところ敵なく、行けば勝ち戦えば勝ち、全国にその名が知られた龍野中学校の黄金時代が築かれ、校長室には二十数本の優勝旗が飾られていた。

龍野高等学校陸上競技部は、この輝かしい歴史と伝統を受け継ぎ、日本選手権、全国高校総体、国民体育大会などの全日本級の大会をはじめ各種競技会で活躍する選手を輩出し続けている。

創部以来約九百名にのぼる部員は、「文武両道、質実剛健」の部訓のもと鍛錬に励み、卒業後は各界で活躍するとともに、陸友会員として後輩への応援を続けている。

創部百周年の記念すべき節目にあたり、一世紀の歩みを振り返りその栄光を讃えるとともに、母校と陸上競技部の新たな百年における更なる飛躍を祈念し、ここに記念碑を建立する。

栄光の軌跡

第一期黄金時代

日本オリンピック大会六〇〇リレー二位（大正七年）
全国中学校大会六〇〇リレー優勝（大正九年）
関西中学校陸上競技大会優勝（大正十年）
第二期黄金時代

全国中学校選手権大会二年連続総合優勝（大正十三年）
全国中学校大会での個人優勝多数（同右）
三木義雄

日本選手権走り幅跳び優勝（大正十二年）
明治神宮競技大会百六十メートル優勝（大正十四年）
日本選手権百十メートル優勝（昭和三年）
アムステルダムオリンピック百十メートル出場（日本新記録）
前田 巖

全国中学校陸上選手権大会障害三位（昭和七年）
国際学生オリンピック棒高跳優勝選手団主将

水木美智子

日本選手権八十メートル三位（昭和二十九年）
国民体育大会同右六位（同右）
日本選手権同右二位（昭和三十年）
全国高校総体陸上競技選手権大会出場者

三村茂雄 四回生 石原雅彦 四回生 杉尾 勝 四回生
森田守之助 五回生 水木美智子 六回生 久保田久子 七回生
熊橋博義 十回生 岩谷勝隆 十八回生 船引 大三 三回生
保田教之 三回生 奥村晋也 三回生 岡本英伯 五回生
吉田浩二 五回生 細川雅史 六回生 上鍵政隆 六回生
国民体育大会出場者
水木美智子 六回生 出羽 哲三 三回生 井戸 浩貴 六回生
箱根駅伝四年連続出場者
内匠英夫 七回生 山本 敬三 三回生 保田教之 三回生
岡本英伯 五回生 井戸 浩貴 六回生

平成二十九年十二月

龍野高等学校陸友会